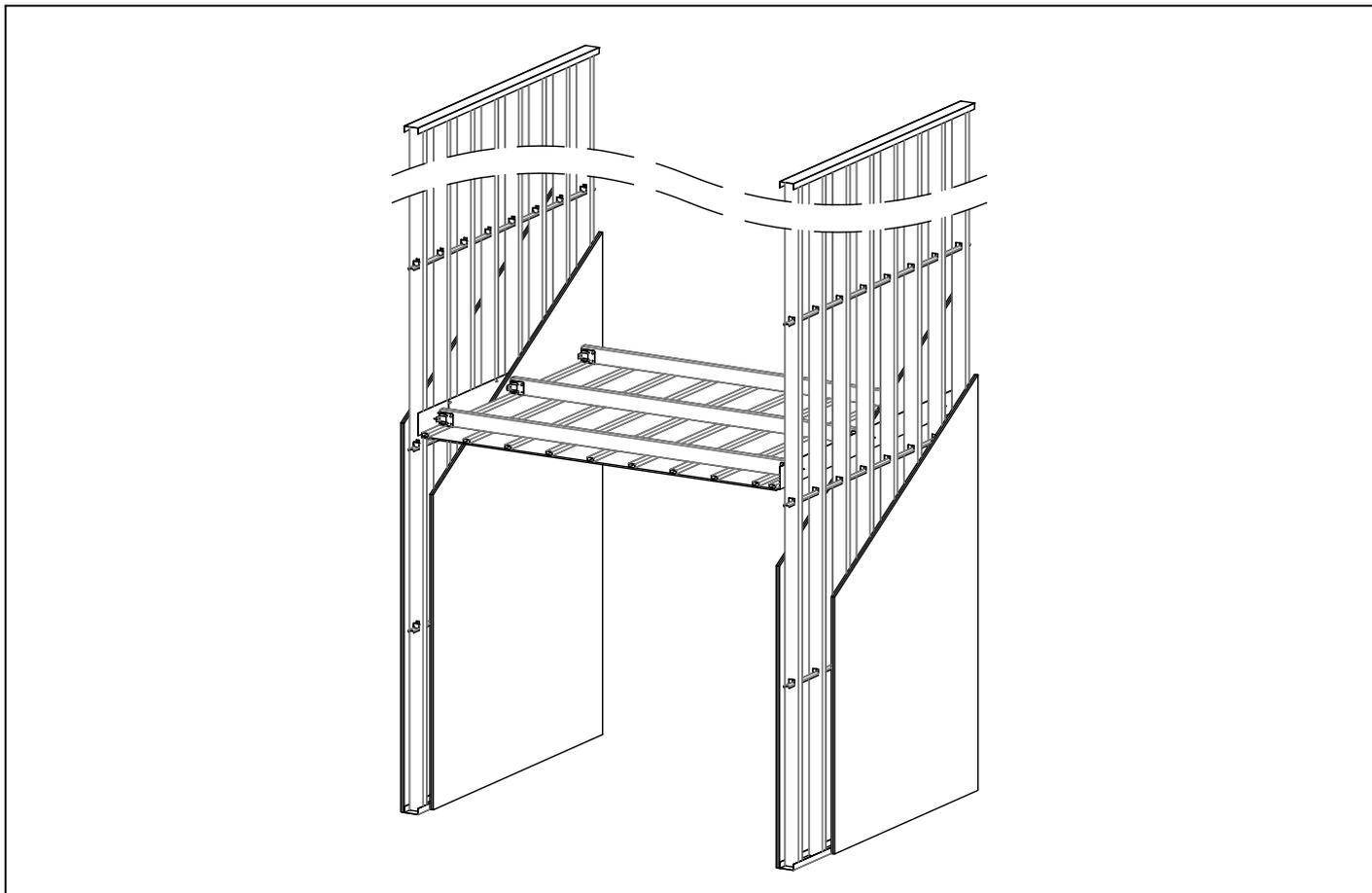


SATOCK®

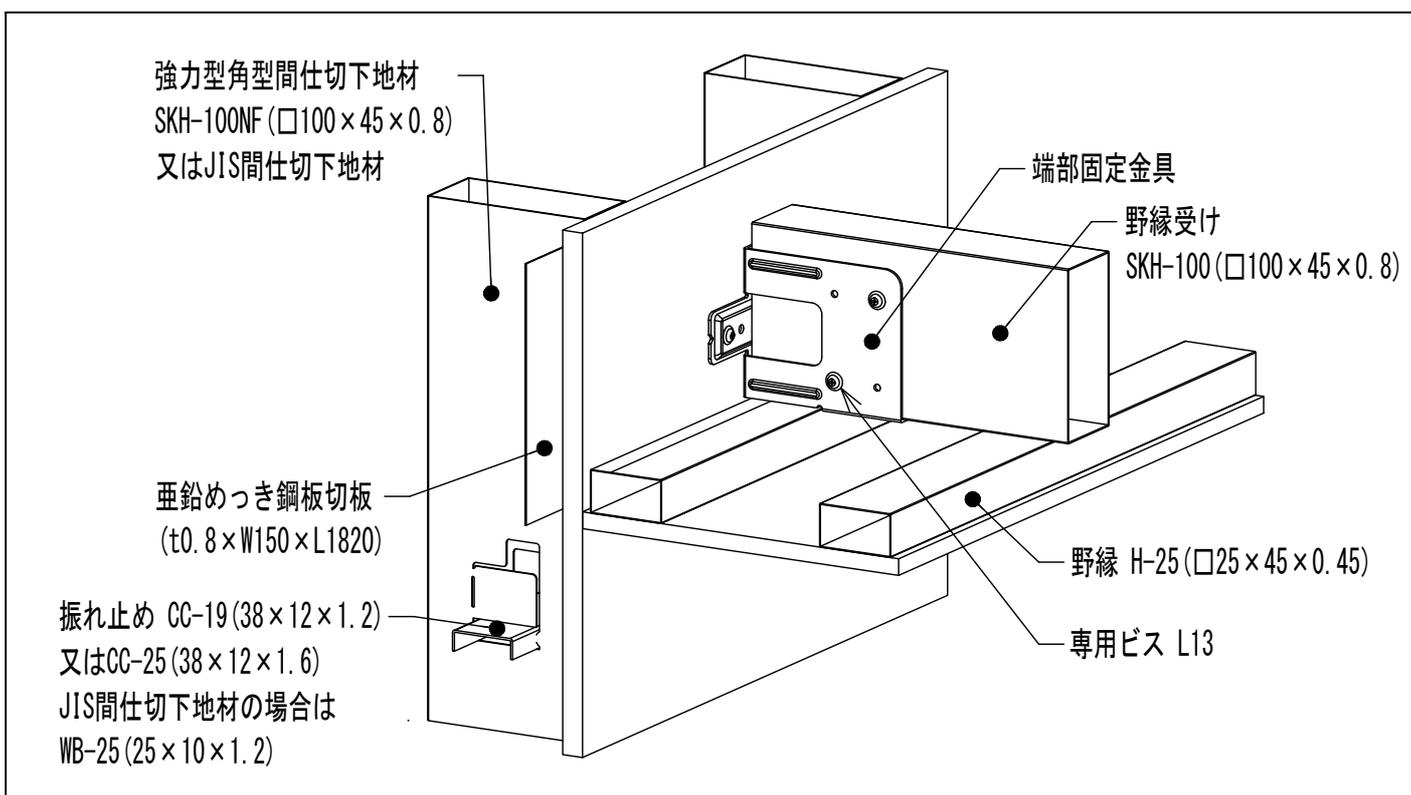
タンゴ天井
標準施工要領書
(PAT.P)

タンゴ天井 標準施工要領書

[組付図]

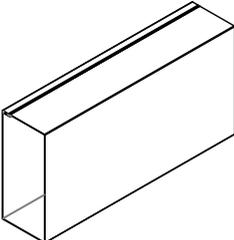
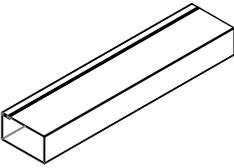
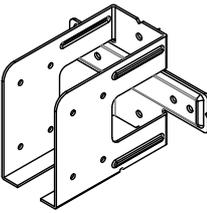
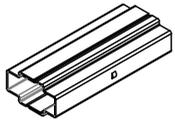
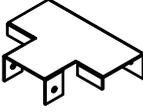
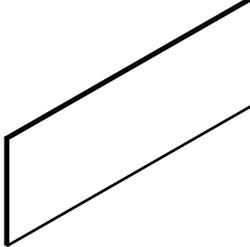


[構成部品詳細図]



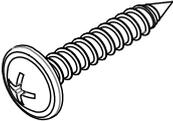
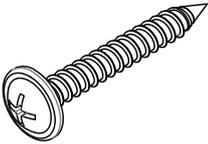
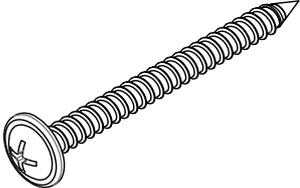
タンゴ天井 標準施工要領書

1. 部材一覧

① 	部材名称	野縁受け
	品名	SKH-100 (□100×45×0.8)
	規格・材質	JIS G 3302 SGCC
	表面処理	Z12
	備考	
② 	部材名称	野縁
	品名	H-25 (□25×45×0.45)
	規格・材質	JIS G 3302 SGCC
	表面処理	Z08
③ 	部材名称	壁・野縁受け接合金具
	品名	端部固定金具
	規格・材質	JIS G 3302 SGCC
	表面処理	Z12
	備考	
④ 	部材名称	野縁ジョイント
	品名	25ジョイント (t=1.0)
	規格・材質	JIS G 3141 SPCC
	表面処理	三価ユニクロ
	備考	
⑤ 	部材名称	野縁直交固定金具
	品名	Tジョイント (t=1.2)
	規格・材質	JIS G 3302 SGCC
	表面処理	Z12
	備考	開口補強用
⑥ 	部材名称	端部固定金具取付用切板
	品名	垂鉛めつき鋼板切板 (t0.8×W150×L1820)
	規格・材質	JIS G 3302 SGCC
	表面処理	Z12
	備考	スタッド・端部固定金具取付用

タンゴ天井 標準施工要領書

1. 部材一覧

⑦ 	部材名称	専用ビス
	品名	L13 (4.2×13)
	規格・材質	JIS B 1125 SWCH18A
	表面処理	三価ユニクロ
	備考	タンゴ+野縁受け・野縁受け+野縁取付用
⑧ 	部材名称	専用ビス
	品名	L32 (4.2×32)
	規格・材質	JIS B 1125 SWCH18A
	表面処理	三価ユニクロ
	備考	タンゴ取付用 (PB12.5mm張りの場合)
⑨ 	部材名称	専用ビス
	品名	L41 (4.2×41)
	規格・材質	JIS B 1125 SWCH18A
	表面処理	三価ユニクロ
	備考	タンゴ取付用 (PB12.5mm+PB12.5mm張りの場合)
⑩ 	部材名称	専用ビス
	品名	L65 (4.2×65)
	規格・材質	JIS B 1125 SWCH18A
	表面処理	三価ユニクロ
	備考	タンゴ取付用 (PB21mm+PB21mm張りの場合)
⑪ 	部材名称	専用ビス
	品名	D=6 FJ13 (4.2×13)
	規格・材質	JIS B 1124 SWCH18A
	表面処理	三価ユニクロ
	備考	スタッド+垂鉛めっき鋼板切板取付用
⑫ 	部材名称	専用ビス
	品名	ST22・STW22(白) (頭径10mm 3.5×22)
	規格・材質	JIS B 1125 SWCH18A
	表面処理	三価ユニクロ
	備考	ボード留め付け用 (地震時落下防止用)
⑬ 	部材名称	専用ビス
	品名	MJ13 (4×13)
	規格・材質	JIS B 1124 SWCH18A
	表面処理	三価ユニクロ
	備考	野縁+H25ジョイント

タンゴ天井 標準施工要領書

2. 設計・施工上の注意事項

- ①両側の間仕切壁の高さ・天井高さ・天井幅などの条件と、天井ボード・壁の下地・ボードの仕様をもとに、天井・壁の剛性が許容範囲内に収まっているか確認をお願いします。JIS間仕切下地材は JIS A 6517 で定める長さ以内(100形の場合 $H \leq 5m$)をお願いします。天井・壁の剛性の計算を行いますので、天井スラブまでの高さ・天井幅・下地材・ボードの仕様や照明等の重量をご連絡ください。
- ②天井配管や設備機器類は、天井スラブから吊り下げないようにして下さい。
- ③各接合部に所定のビスの本数で留め付けてあるか等の確認をお願いします。

3. 作業手順

①両側の間仕切壁(強力型角型間仕切下地材 又は JIS間仕切下地材)を所定の施工要領にて施工



②両側の間仕切壁に天井仕上高さから割り出した高さで溶融亜鉛めっき鋼板切板の位置を墨出し



③溶融亜鉛めっき鋼板切板の取付け



④両側の間仕切壁に所定の施工要領に従ってボード張り



⑤端部固定金具を取り付ける位置を墨出し



⑥端部固定金具の取付け



⑦端部固定金具に野縁受けSKH-100(□100×45×0.8)を取付け

タンゴ天井 標準施工要領書

⑧野縁受けSKH-100(□100×45×0.8)の間隔に合わせて野縁H-25(□25×45×0.45)にホールソーでφ15～φ25の穴あけ



⑨野縁H-25(□25×45×0.45)の取付け



⑩開口部の補強



⑪レベルの確認及び点検



⑫天井ボード張り

※溶融亜鉛めっき鋼板切板を捨張りボードと仕上張りボードの間に取り付ける場合は下記のようになります。

前項①



① 両側の間仕切壁に所定の施工要領に従ってボード張り(下張り)



② 両側の間仕切壁に天井仕上高さから割り出した高さで溶融亜鉛めっき鋼板切板の位置を墨出し



③ 溶融亜鉛めっき鋼板切板の取付け



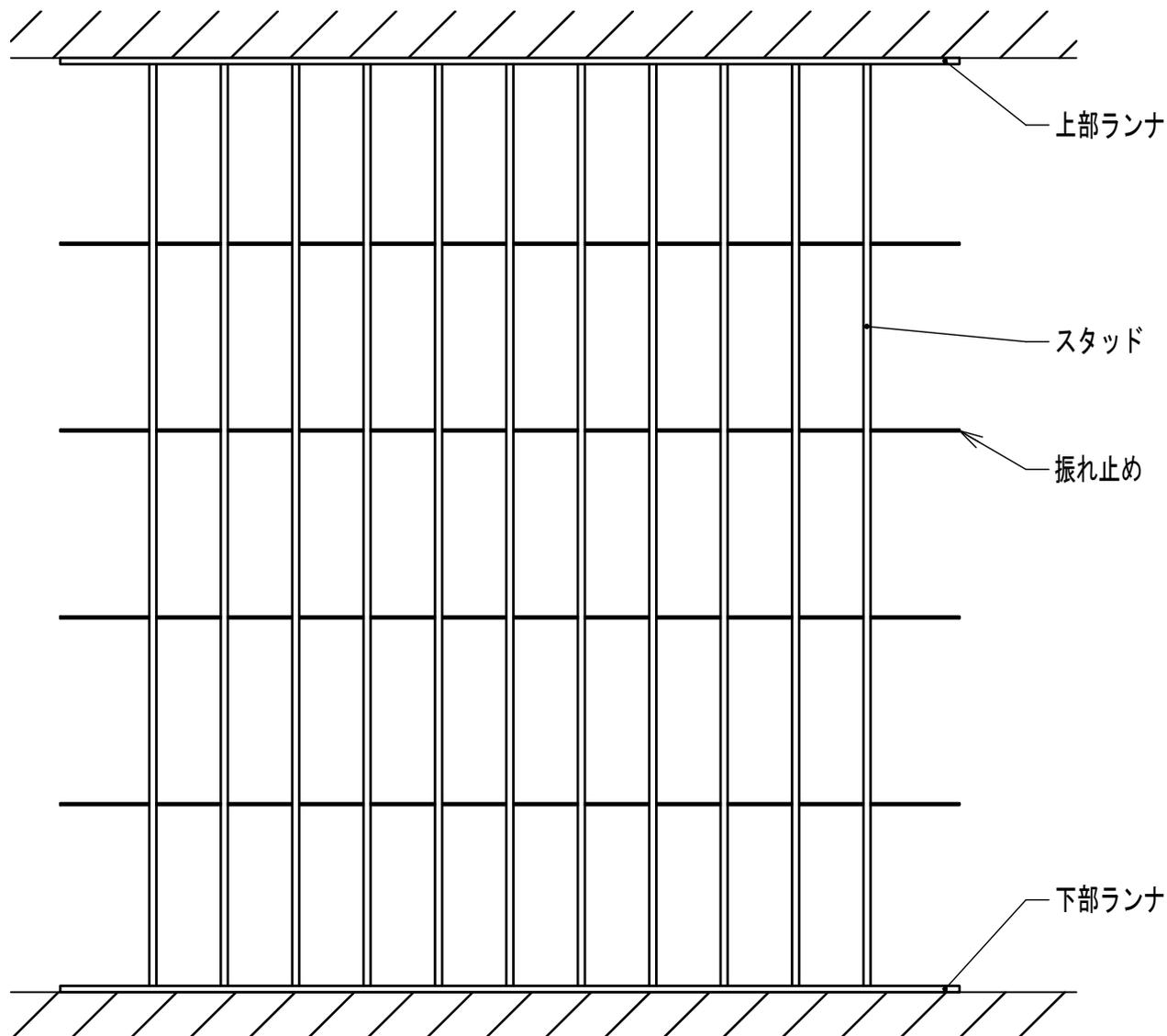
④ 両側の間仕切壁に所定の施工要領に従ってボード張り(上張り)

前項⑤へ



タンゴ天井 標準施工要領書

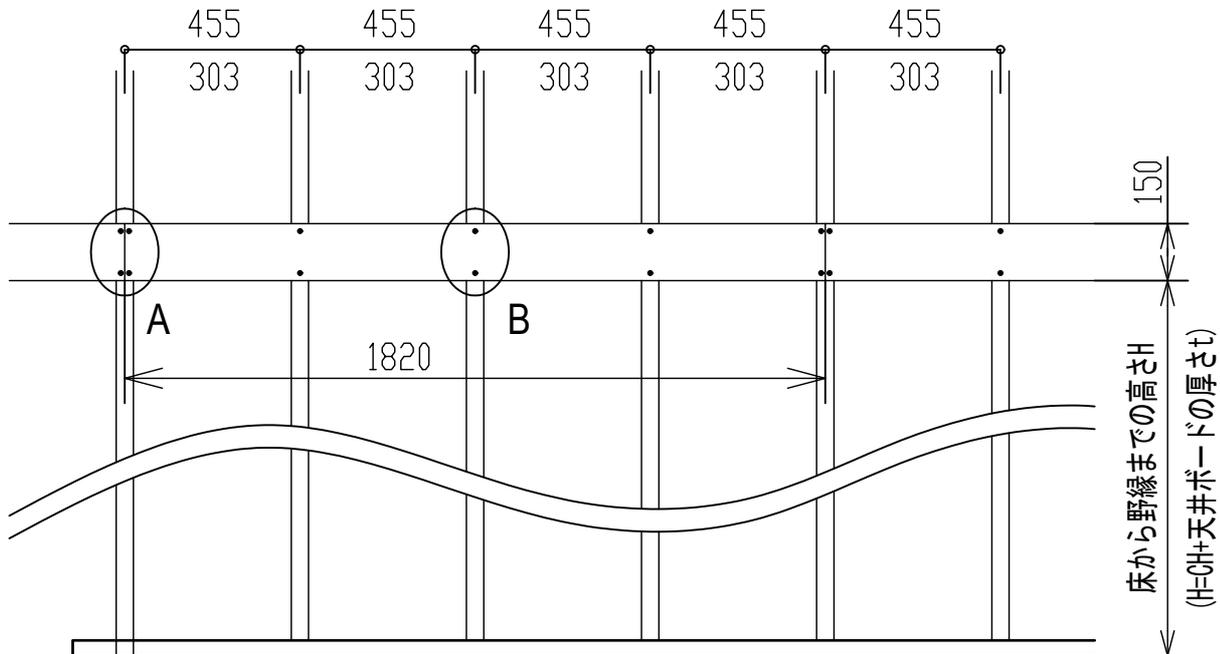
①両側の間仕切壁(強力型角型間仕切下地材 又は JIS間仕切下地材)を所定の施工要領にて施工



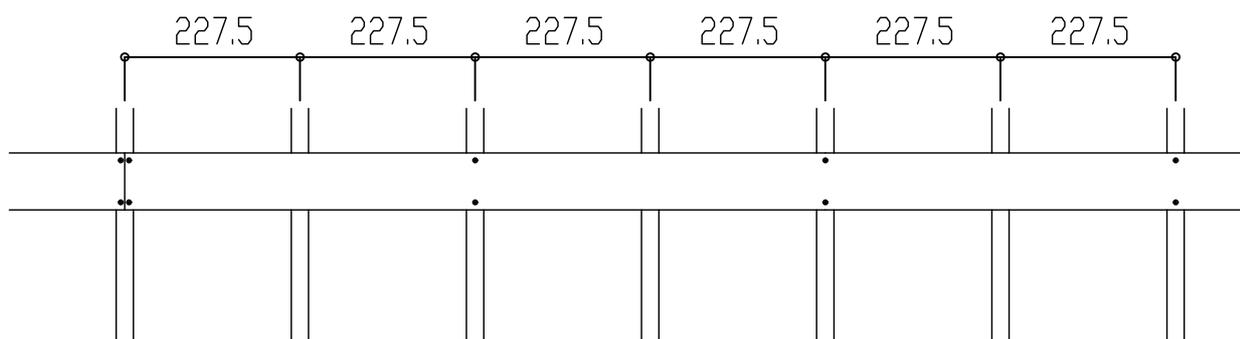
施工後、ランナの留め付けピンの間隔、スタッドの建て込み間隔、スタッドとランナのクリアランス、振れ止めの固定等、施工要領書通りに施工されているか確認を行う。

タンゴ天井 標準施工要領書

②・③両側の間仕切壁に天井仕上高さから割り出した高さで溶融亜鉛めっき鋼板切板の位置を墨出しして取付け



(スタッドの間隔が @303・@455 の場合)

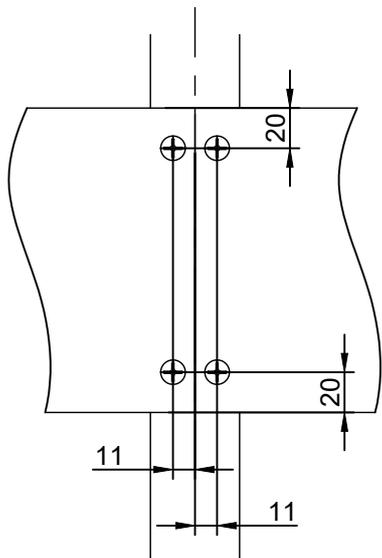


(スタッドの間隔が @227.5 の場合)

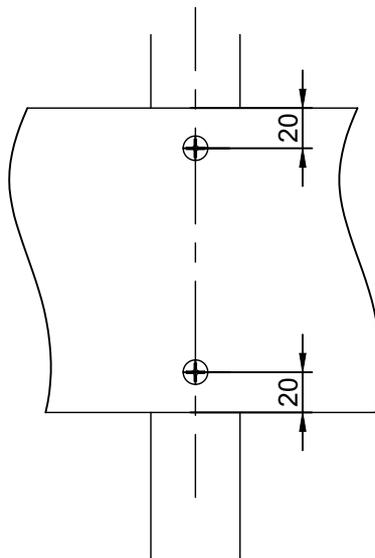
上図のように、溶融亜鉛めっき鋼板切板 (t0.8×W150×L1820) の下端の高さHをCH+天井ボードの厚さtにしてランスタッチビス D=6 FJ13 でスタッドに固定する。

タンゴ天井 標準施工要領書

ランスタッチビス D=6 FJ13 の固定位置は詳細図A・Bのように上下端から20mm、両端部から11mmとする。同ビスの留め間隔は@455以内とする。



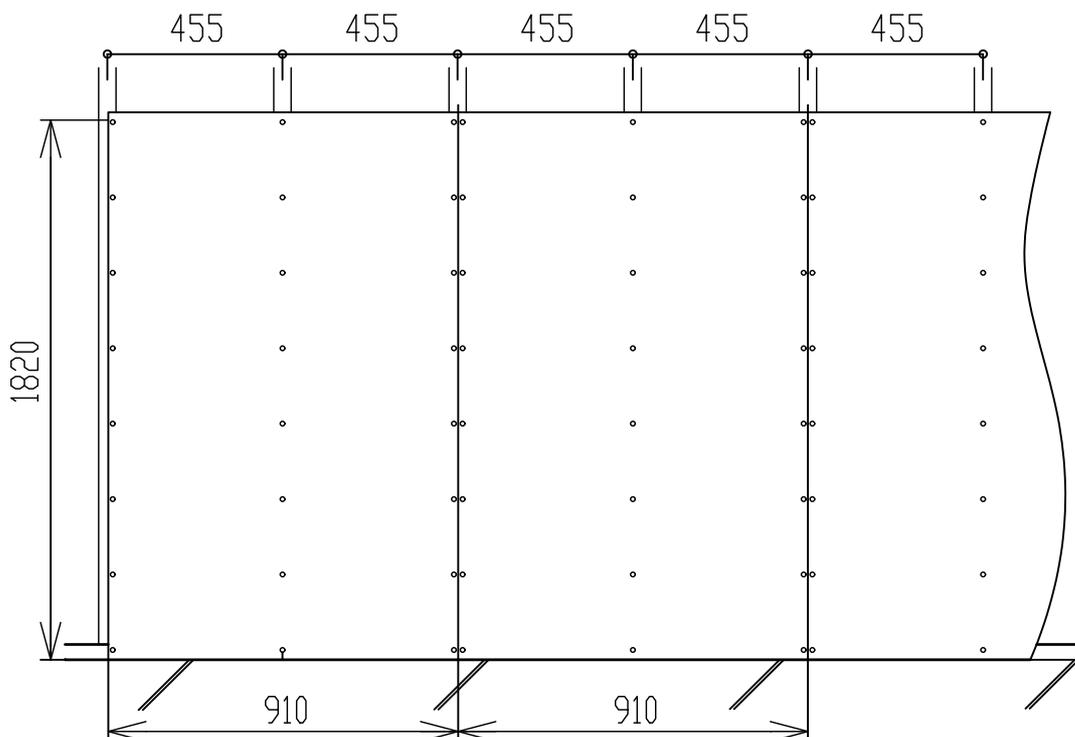
詳細図 A



詳細図 B

- ④両側の間仕切壁に所定の施工要領に従ってボード張り(下張り・上張り)
- ㊤両側の間仕切壁に所定の施工要領に従ってボード張り(下張り)

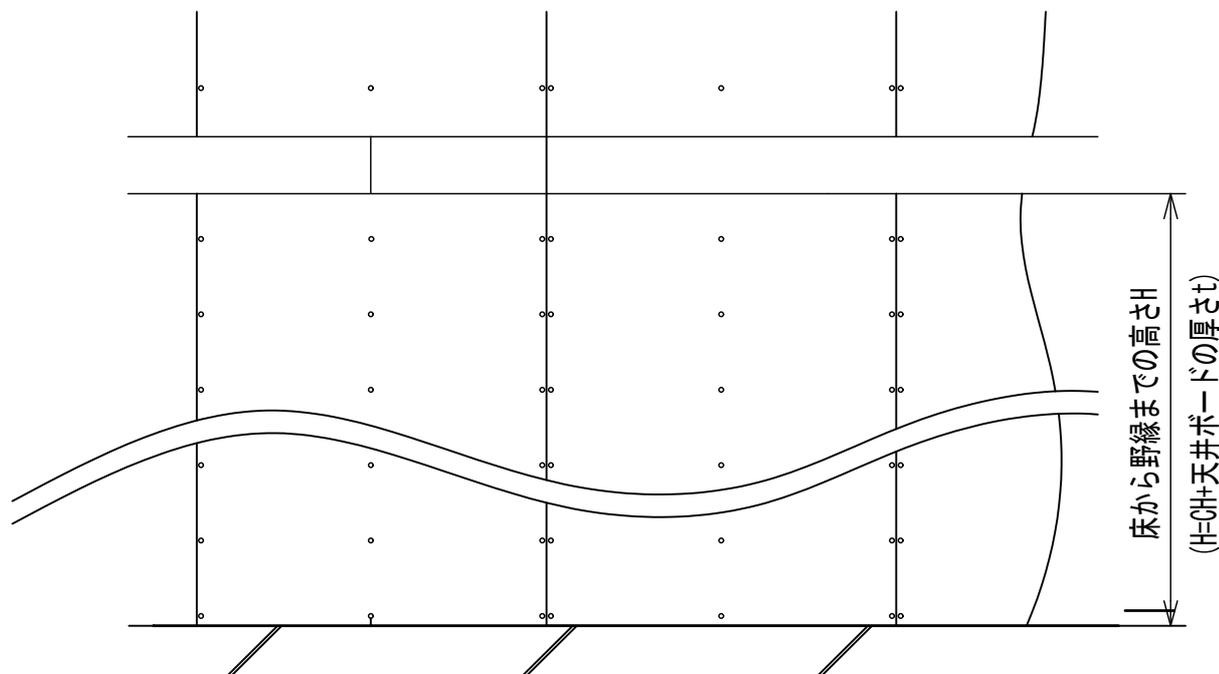
石膏ボードメーカーの施工要領に従ってボード張りを行う。



(スタッドの間隔が @455 の場合)

タンゴ天井 標準施工要領書

①② 両側の間仕切壁に天井仕上高さから割り出した高さで溶融亜鉛めっき鋼板切板の位置を墨出し、取付け



上図のように、溶融亜鉛めっき鋼板切板 (t0.8×W150×L1820) の下端の高さHをCH+天井ボードの厚さtにして、下記の推奨接着剤のどれかを選択し、各接着剤メーカーの施工要領に沿って溶融亜鉛めっき鋼板切板 (t0.8×W150×L1820) を取り付ける。

推奨接着剤

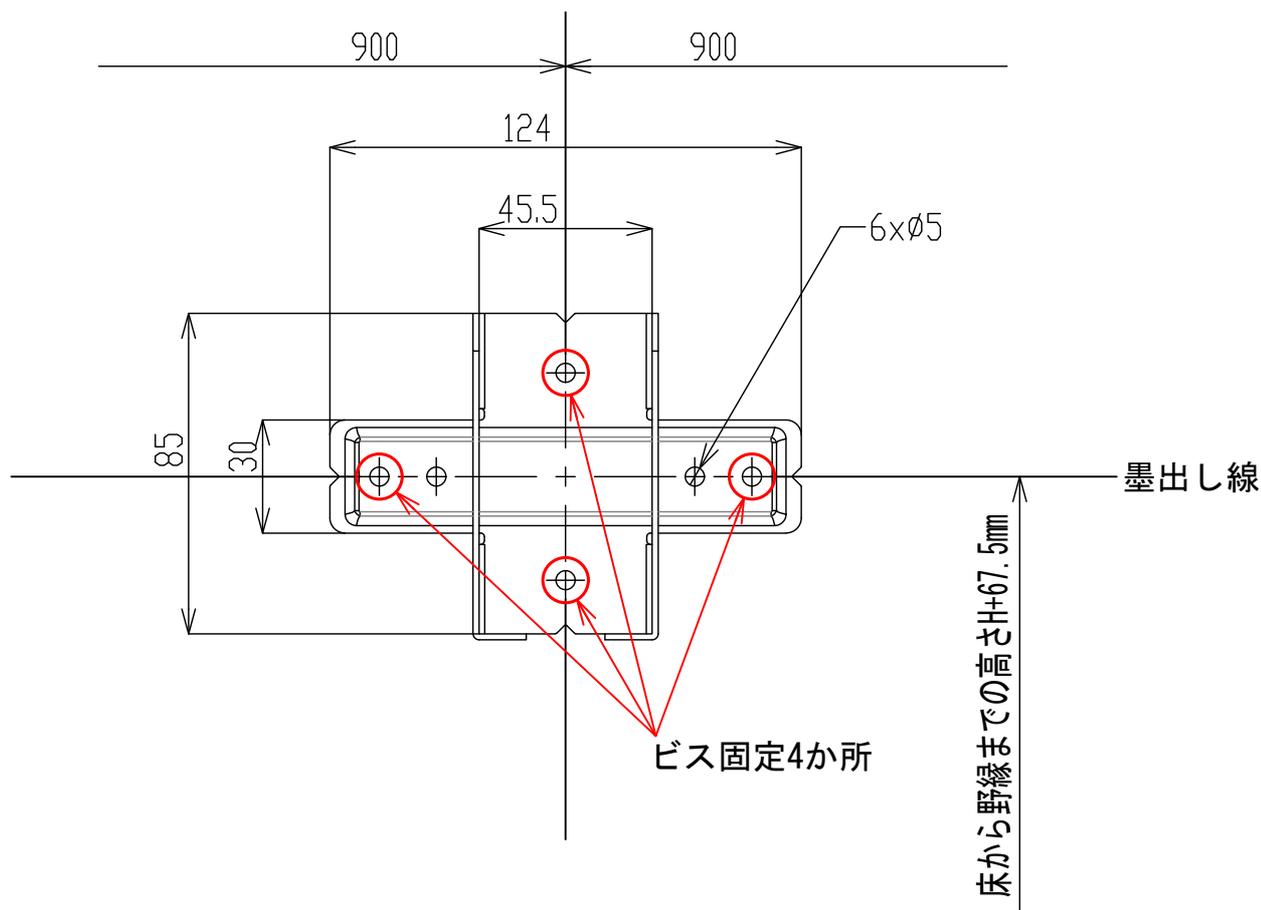
品名	メーカー	W150切板1mあたりの接着剤塗布量目安
ボンドTM工法 (ボンドMPX-1+ボンドTMテープR1)	コニシ(株)	MPX-1:25mL
PS-100	(株)タイルメント	32mL
ハイスーパーR100	(株)タイルメント	21~27g
PM165-RX	セメダイン(株)	ビード状:25mL 全面塗布:75mL

③ 両側の間仕切壁に所定の施工要領に従ってボード張り(上張り)

石膏ボードメーカーの施工要領に従ってボード張り(上張り)を行う。

タンゴ天井 標準施工要領書

⑤・⑥端部固定金具を取り付ける位置を墨出し・取付け



床から野縁までの高さH+67.5mmの高さと左右900mmピッチに墨出しを行う。

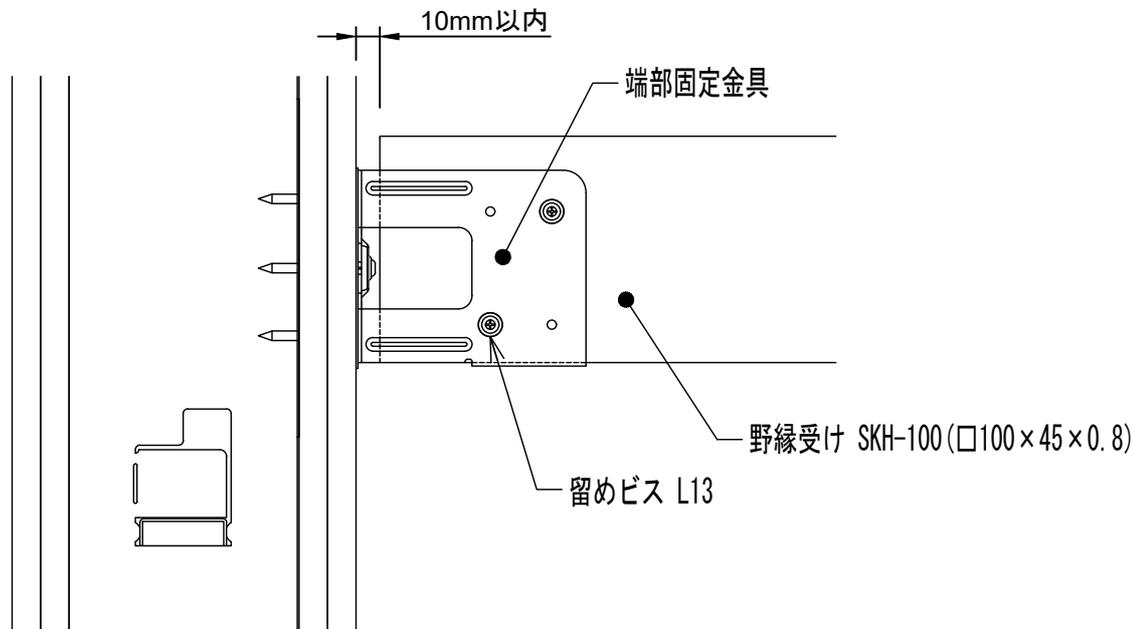
墨出し後、端部固定金具を両面テープ等を用いてボード面に仮止めし、上図の4か所に専用ビスで固定する。

ビスの長さは垂鉛めっき鋼板切板からビスの先端が10mm以上突き出るように選定する。

- PB12.5張りの場合 L32(4.2×32)
- PB12.5+PB12.5張りの場合 L41(4.2×41)
- PB21+PB21張りの場合 L65(4.2×65)

タンゴ天井 標準施工要領書

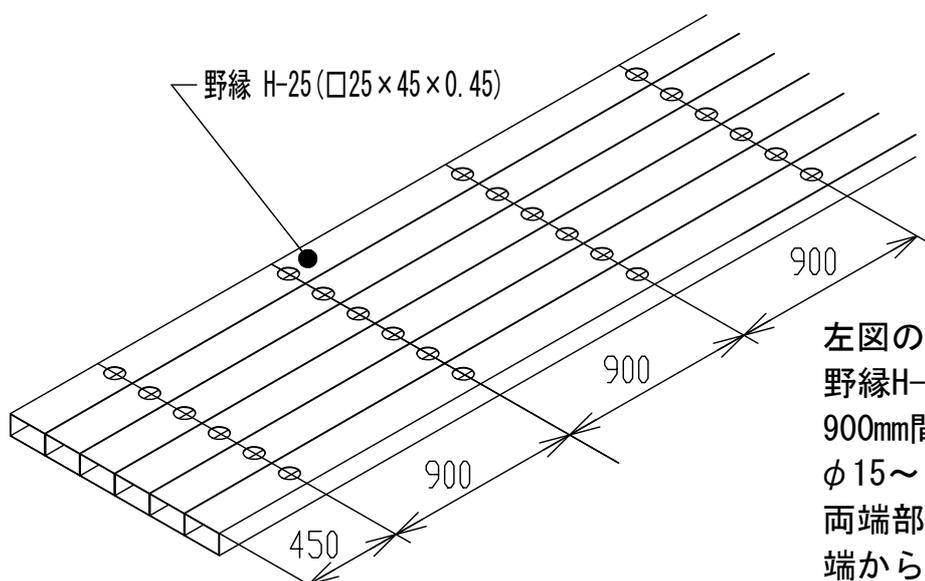
⑦ 端部固定金具に野縁受けSKH-100 (□100×45×0.8) を取付け



野縁受けSKH-100 (□100×45×0.8) は両側の間仕切壁の距離をレーザー距離計や巻き尺等で測定して端部固定金具とのすき間が10mm以内となるようにカットする。

野縁受けSKH-100 (□100×45×0.8) を端部固定金具に差し込み、上図のように対角線上に片面2本両面4本のL13ビスで固定する。

⑧ 野縁受けSKH-100 (□100×45×0.8) の間隔に合わせて野縁H-25 (□25×45×0.45) にホールソーでφ15～φ25の穴あけ

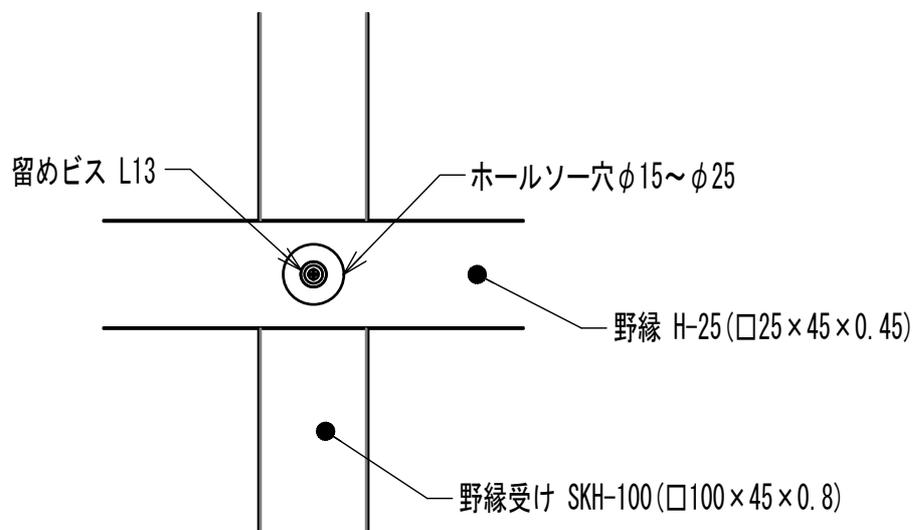
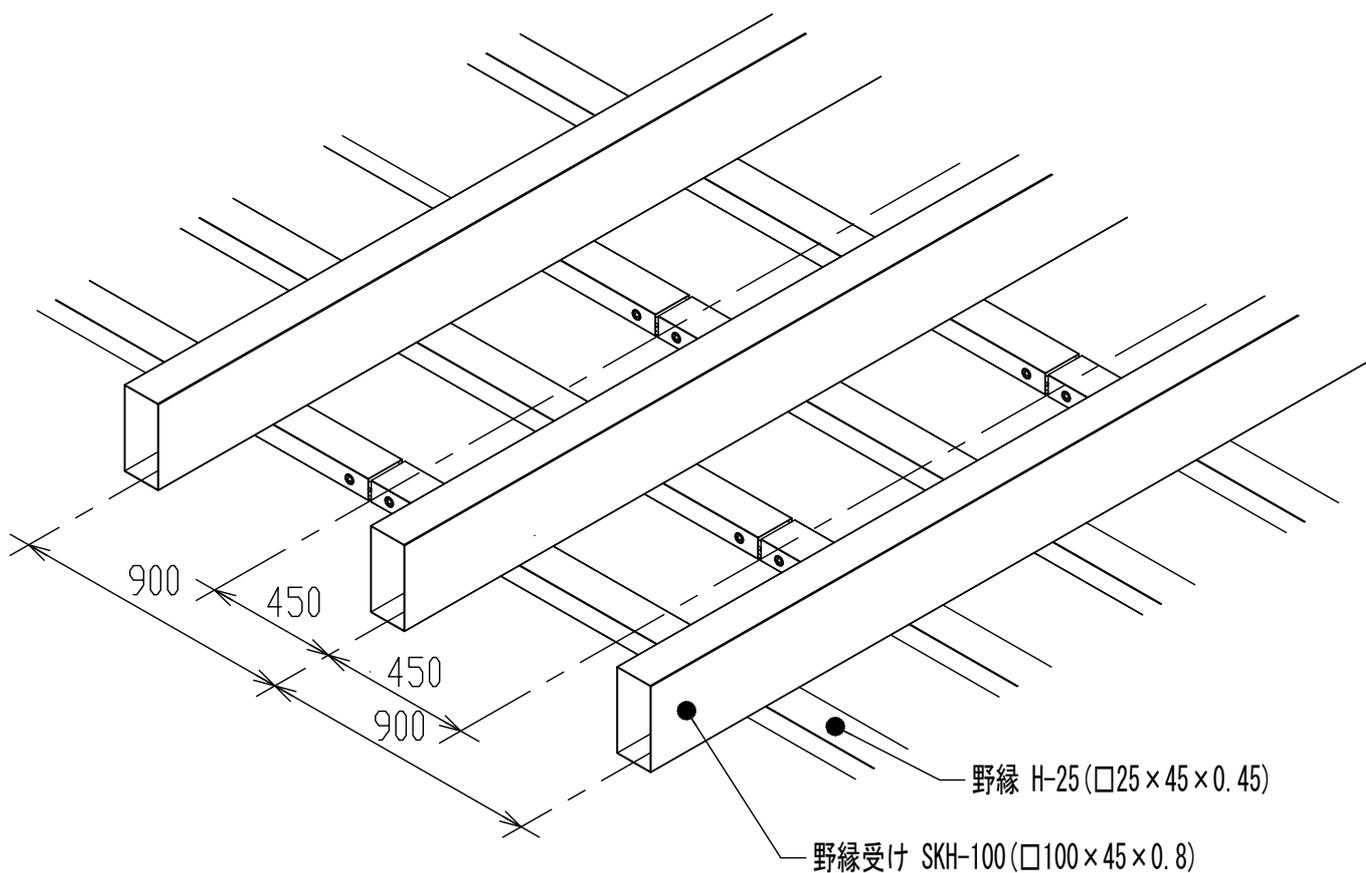


左図のように野縁H-25 (□25×45×0.45) 材を並べて900mm間隔に墨出し後、ホールソーでφ15～φ25の穴あけを行う。両端部はジョイントを入れるので端から450mm離して穴あけを行う。

タンゴ天井 標準施工要領書

⑨野縁H-25 (□25×45×0.45) の取付け

下図のように、野縁H-25 (□25×45×0.45) ジョイント部を900mm交互にずらしてホールソー穴φ15～φ25に向けてL13ビスで留める。

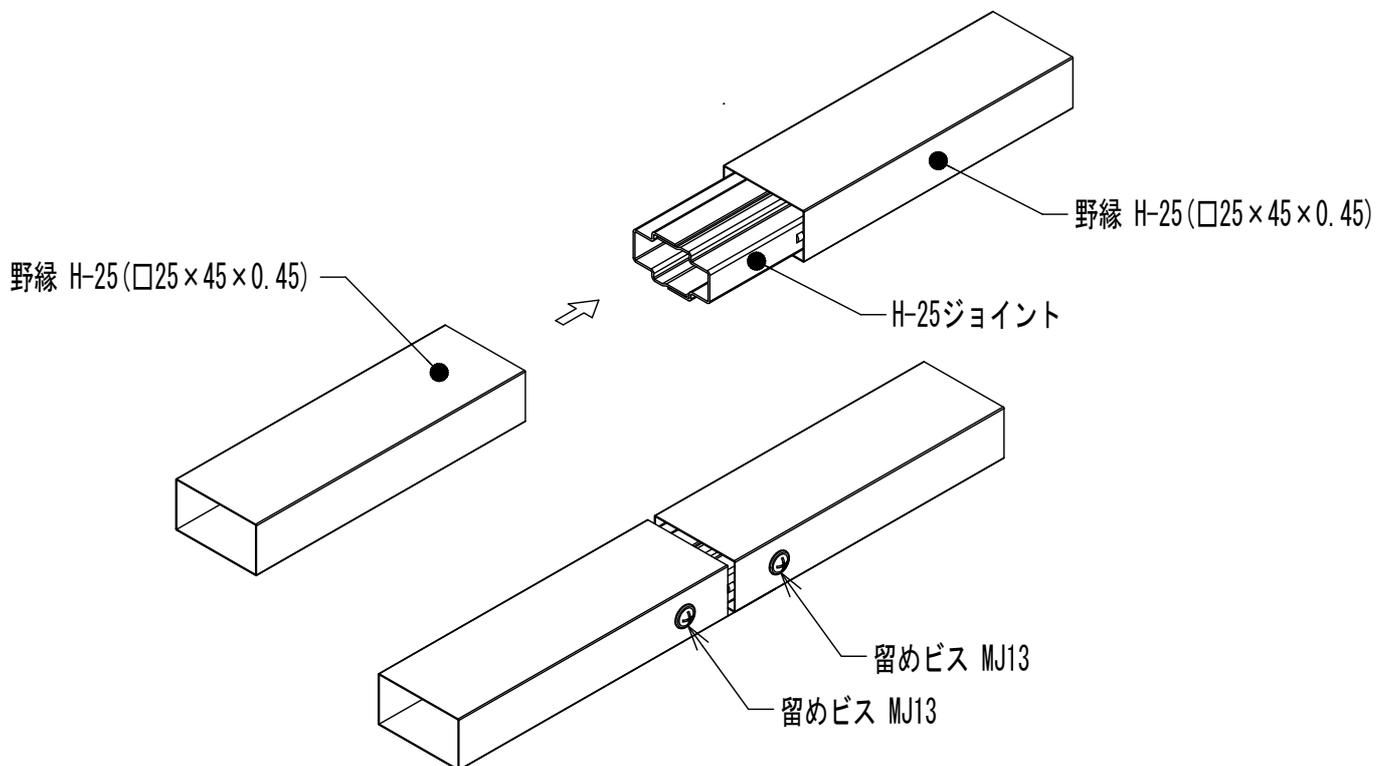


野縁と野縁受けの交差部 底面詳細図

タンゴ天井 標準施工要領書

⑩野縁H-25 (□25×45×0.45) のジョイント部

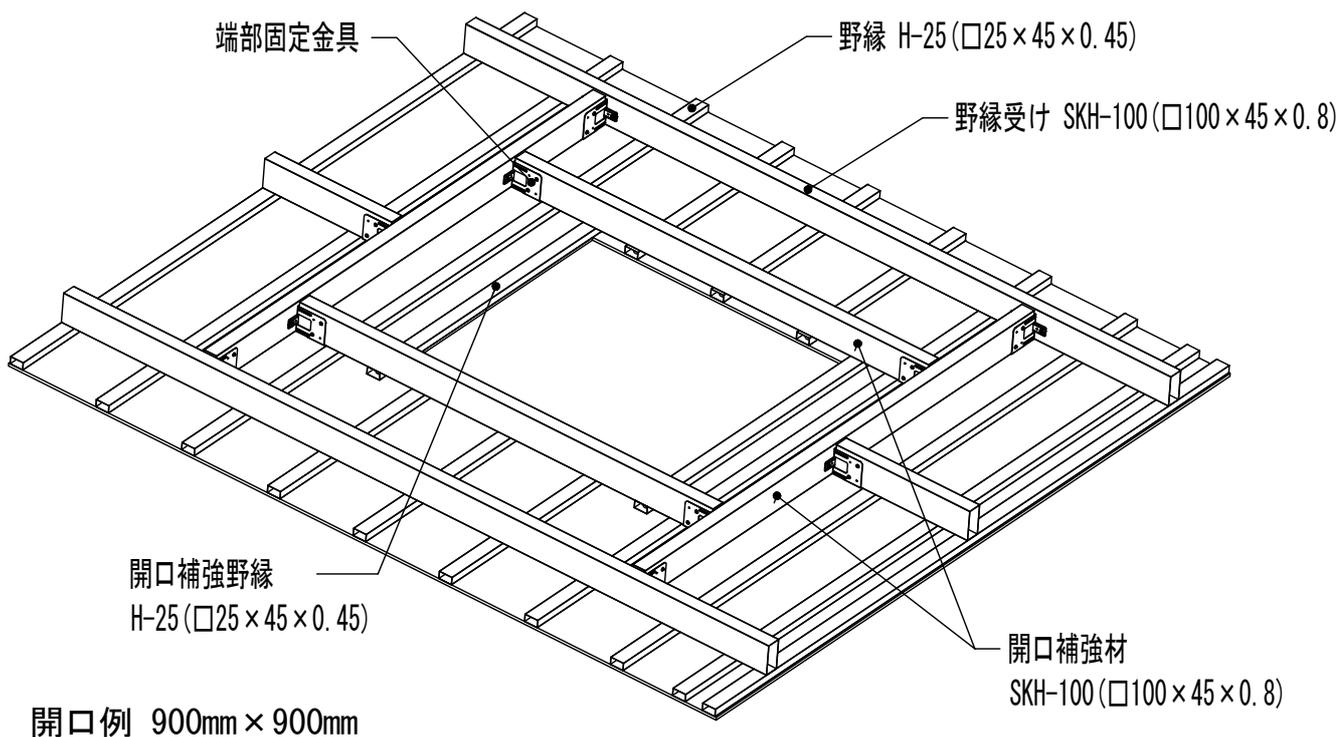
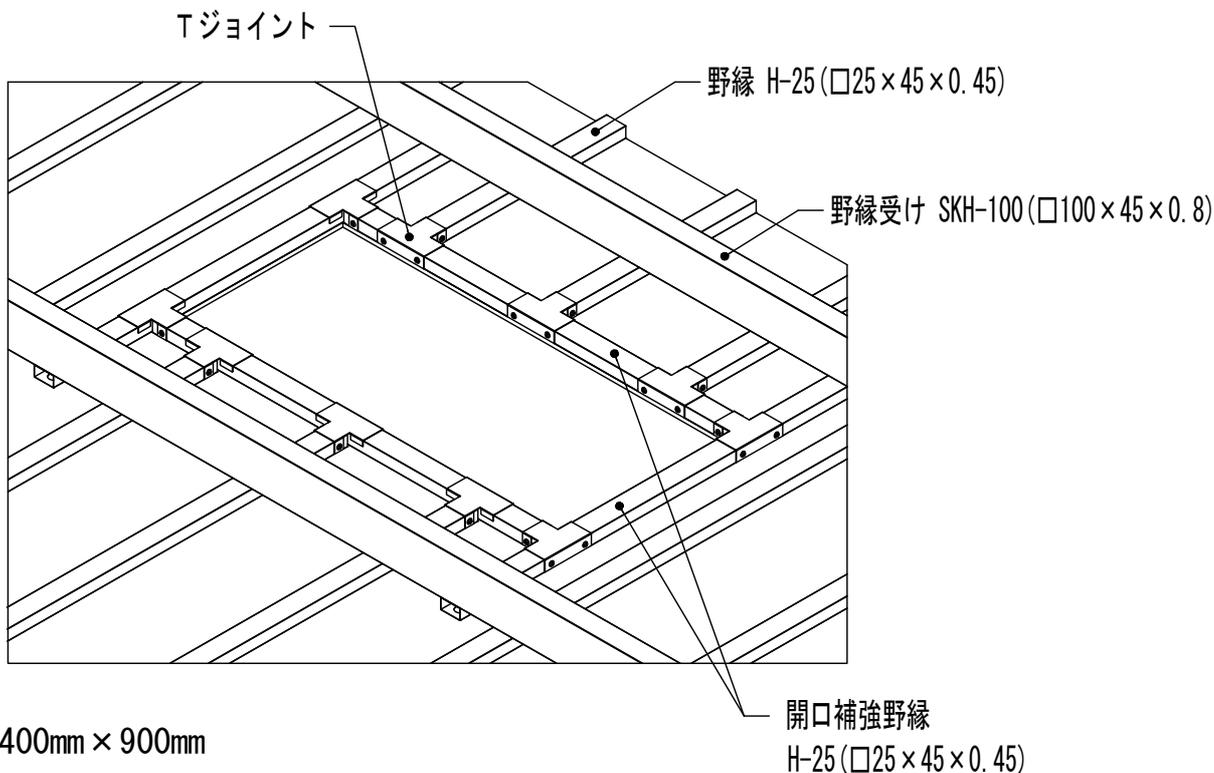
野縁ジョイント部は下図のように留めビスMJ13を片面2本、両面4本で固定する。



タンゴ天井 標準施工要領書

⑪開口部の補強

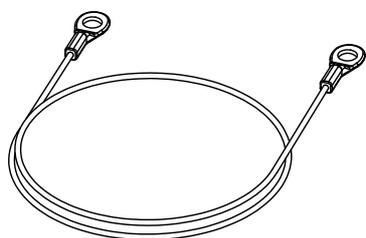
下図のように端部固定金具やTジョイントを用いて開口部を補強する。



タンゴ天井 標準施工要領書

⑫ビス留め端子付きステンレスカットワイヤーの取付け (取付ける場合は両側の全ての端部固定金具に取付ける)

必要に応じてビス留め端子付きステンレスカットワイヤー(ニッサチェーン Y-159)を下図のように端部固定金具の空いた穴に留めビスL19で固定する。
もう片方の端部は下図のようにゆるませて端部固定金具から150mm程度、上下方向は亜鉛めっき鋼板の中央付近に留めビスL32(PB12.5mm+PB12.5mm張りの場合)で固定する。



ビス留め端子付き
ステンレスカットワイヤー
(ニッサチェーン Y-159 全長450mm
参考使用荷重 50kgまで)

